



阿南高専便り



CONTENTS

2… 校長からのメッセージ

3… 別れの言葉

4… 卒業を祝う

- ・機械コース
- ・電気コース
- ・情報コース
- ・建設コース
- ・化学コース

9… 修了を祝う

- ・専攻科

10… 海外インターンシップ・語学研修感想
台湾研修旅行報告

11… 高専ロボコン2019 四国地区大会 出場報告

四国移動型&自律型ロボットトーナメント2019
(SMART2019) 出場報告

12… 第30回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト
第16回 全国高等専門学校デザインコンペティション
(デザコン2019 in Tokyo) 参加報告

13… 人権教育便り

第41回 四国地区高等専門学校 総合文化祭
第14回 蒼阿祭

14… 図書館便り

16… 各種大会報告

校長からのメッセージ

高い志をもってチャレンジを！

校長 寺 沢 計 二

令和の新時代の幕が開き、2020年は東京オリンピックの年。

前回の東京オリンピックが開催されたのは56年前。阿南高専創立の1年後に当たります。NHKの大河ドラマ「いだてん」でも描かれていたように、当時は戦後の復興期を乗り越え高度成長期へと移っていく高揚感に包まれた時代でした。高専はまさにそんな時代背景に誕生し、中学校を卒業したばかりの優秀な若者を集め、この国が必要としていた技術人材を5年一貫教育で次々と輩出していきました。皆さんの先輩たちが、のちの日本を世界に冠たる技術立国として押しも押されもせぬ地位へと押し上げていく大きな原動力となってきたことは疑いありません。

そして56年の時を経て、奇しくもふたたび日本でオリンピックが開催されようとしている今、ふたたび高専が脚光を浴びようとしています。

バブル崩壊後の「失われた30年」とも言われる停滞期、デフレ経済に日本がもがき苦しんでいるうちに、世界では「IT革命」からデジタル・エコノミーへと大変革を遂げ、グーグル、アマゾンなどのプラットフォーマーが世界の経済・社会を席巻しています。そんな中で、人工知能（AI）やモノのインターネット（IoT）技術も駆使して日本のお家芸たる「ものづくり」の復権や新たなSociety5.0の実現に向けてチャレンジしていく上で、これを支える高度な技術人材の供給源として高専生への期待が急速に高まっているのです。

さて、その古くて新しい高専のひとつ、阿南高専には、その創立当時を想起させる「ある物」が残っているのをご存知でしょうか。校長室の壁に、本校創立当時の灘尾弘吉文部大臣の揮毫による「高志」の書が掲げられています。学生食堂やコンビニがある「高志会館」の由来にもなったもので、毎年度、教育・研究に多大な貢献があった教員に贈られる「高志賞」もこれに因んでいます。

阿南高専で学ぶ皆さんは「高い志」を持っていますか？30倍という驚異的な求人倍率に恵まれ、きちんと進級し、卒業さえ出来れば人生は安泰だ、と安易に現状に満足していませんか？

30年前のバブル崩壊以降、「世界をわれわれが変えていく」との気概を失い、目先のコスト競争に明け暮れて新たなチャレンジを怠っているうちに、気がつけば中国やアジアの新興国も含め、世界は何周も先に行ってしまいました。今、われわれ日本人に求められているのは、前例のない世界に自分で絵を描く高い志、そしてそれを実現に移していく強い意志に他なりません。

昨年、ワールドカップで世界に大旋風を巻き起こしたジャパン・ラグビー。番狂わせが殆どないと言われる世界トップレベルのラグビーでなぜジャパンはONE TEAMとして世界の強豪を倒し快進撃を果たせたのか。そこには、徹底した鍛錬があったことは勿論ですが、世界の強豪に勝つという高い志をもち、勝つための戦略を立て、強い意志で徹底的にやり通したからこそ、強豪を相手にひるみことなく自信を持って闘い、世界中を興奮させる素晴らしい成果を掴み取ったのです。

そして今年は、オリンピックでの日本選手の頑張りをふたたび間近で目撃することが出来る素晴らしいチャンスがやってきました。彼ら、彼女らの活躍の背景にある高い志と強い意志を感じ取り、皆さんも日本の未来をリードし世界で闘える技術者、あるいは将来の経営者を目指して、高専生活、あるいは就職、進学後のそれぞれの道で、新たなチャレンジを続けていきましょう！

別れの言葉

機械コース 多田 博 夫

学生時代とあわせ、35年間過ごした阿南高専を卒業する日が来ました。いろんなチャレンジをし、沢山の失敗と、それに勝る達成感を得られました。高専ロボコン全国大会への初出場を目指した悪戦苦闘の全てを「NHKにんげんドキュメント」として放映されたこと。周囲の期待とTVカメラのプレッシャーはいつしか快感となり、それが結実した瞬間は忘れられません。他にも学生たちといろんなモノを作ってきました。卒研生と電動バイクを作り、四国E Vラリーで無敗の時期もありました。私の研究室はいろんな製作物で溢れ、大好きなメカに囲まれた毎日でした。好きなことを仕事にし、好きなことを学生に教えらる。多くのコンテストに出場し、結果も出せました。選手経験の無いバレーボールでの全国高専制覇は出来すぎでした。私にとって阿南高専は本当に恵まれた環境であり、この場所とともに過ごした学生、教職員、そして阿南高専サポーターの皆様感謝いたします。

この阿南高専の任期を少しだけ残し、自動車整備士を養成する県内の大学に転職致します。自身の年齢と、元気に仕事の出来る残された時間を鑑み、「自動車が好き！」という気持ちだけで、新たなチャレンジを始めます。「出来る出来ないを悩まずに、好きならばチャレンジしろ」と学生に言い続けた自身の言葉に背中を押され、長年お世話になった阿南高専を卒業し、新たな道に進みます。皆様、本当にお世話になりました。

電気コース 西 尾 峰 之

高専教員としての6年間に於いて、学生の技術的・人間的な成長の場に携わることができたことが最も大きな喜びでした。最初は単に与えられたものを受け入れるだけだった学生も高学年になると修得した知識や技術を応用して私自身が思いもつかない創造的なアウトプットができるようになりました。高専には他者と協働しながら互いを高め合う機会が豊富にあり、自らの持つ個の力と自分にはない他者の力を広い視野を持ってうまく組み合わせる過程を経ることで、エンジニアとしてのレベルをもう一段向上させることができるのだと思います。私は今年度をもって高専という古くて新しい教育の場から去ることになりますが、来年度以降は企業という別の立場から徳島県の有する新しい産業育成に携わる予定です。高専学生がこれまで果たしてきた成長の過程を実際の問題解決の現場にも応用し、自らの専門分野の垣根を超えて他とつながることでこれまで想像できなかった価値を見出すことができればと思います。最後になりましたが、学生・保護者・地域・教職員の皆様に深くお礼申し上げ、別れの挨拶と致します。

一般教養 城 本 春 佳

平成23年に本校に着任してから、9年が過ぎました。私の専門は言語学と日本語教育であり、本校でも初めは留学生の日本語の授業を行う非常勤講師として働き始めました。その後、英語の教員として採用されましたが、留学生の指導においても、日本人学生の指導においても、彼らがより広い世界に羽ばたいていく手助けができれば、という想いで、言語教育だけでなく生活指導にも取り組んでまいりました。海外留学を経験した学生だけでなく、寮生活等を通して留学生と関わり、異文化コミュニケーションの難しさと楽しさを経験した学生たちは、これから更に国際化が進んでいく日本の社会において、異なる文化的背景を持った人々と協働してよりよい社会を創り上げていくことのできる真のグローバル人材になっていくのではないかと期待しています。

私は来年度から、四国大学で日本語教員の養成に携わる予定です。新しい仕事への期待が膨らんでいますが、やはり賑やかな高専の生活を離れるのは寂しいです。ここで幸せな時間を過ごさせていただいたことに、学生の皆さん、保護者の皆様、教職員の皆様に心から感謝申し上げます。

建設コース 池 添 純 子

今年度をもって阿南高専を退職し、4月より徳島文理大学へ異動することとなりました。平成23年に着任してから9年が過ぎ、在職中は二児の出産でお休みを頂いた年度もありましたが、1年1年がどれも忘れられない、大変充実した時間であったと感じています。ここまで支えてくださった保護者・教職員の皆様をはじめ、教育・研究活動でお世話になったすべての方々に心より御礼申し上げます。また、私は学生のみなさんと色々な話をする時間が一番楽しみでした。みなさんの成長は我が子のここのようにうれしく、時には心配もし、共に成長させていただきました。ありがとう。

「建築物」は「人間生活の器」である。これは、私の授業で度々でてきた言葉です。みなさんが優秀な技術者として活躍する際には、その技術の周辺にいる生活者の姿を常に忘れず、みなさん自身もひとりの生活者として、ぜひ地域社会でも活躍してください。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、ならびに阿南高専の益々のご発展をお祈りし、お別れの言葉と変えさせていただきます。本当にありがとうございました。



3年 見学旅行

贈る言葉

遊戯三昧

機械コース 5年担任 西野 精一

ご卒業おめでとうございます。5年ぶりに担任したクラスが皆さんで幸せでした。阿南高専での5年間で、みなさんは機械工学の専門知識や技能だけでなく、寮生活、部活動を通じて多くの友人や恩師を得て、4月からは社会人や大学生として巣立つことになります。エンジニアとして社会で活躍する皆さんに「遊戯三昧」という言葉を送ります。この言葉は、単に「遊ぶ」という意味ではなく、「することを、楽しむ」という意味です。皆さんはこれから、様々な仕事や課題に直面します。でも、「することを楽しむ」すなわち、仕事をさせられるのではなく、自ら楽しんで行うことが、人生を充実させる要素だと思います。仕事を楽しんで、プロのエンジニアとして活躍するとともに日本の発展に貢献してくれることを期待しています。



2年 球技大会



アクティブラーニングスタジオでの学習

5年生の言葉

■機械コース

1年担任 新井 修、西森康人、山田耕太郎、平山 基
2年担任 山田 洋平 3年担任 安田 武司
4年担任 伊丹 伸 5年担任 西野 精一

■卒業

柏木 恵太

5年間の高専生活、悩んだ時期や楽しくない時期もあったが、人間関係のおかげで乗り切れたと感じる場面が多々ある。寮生活をともにした友人や、ともに部活動に励んだ先輩後輩、5年間お世話になった学校の先生。全ての人ののおかげさまで、充実した時間を過ごすことができた。ここで出会った友人や仲間と、今後の人生でも助け合うことができるだろう。5年間、ありがとうございました。高専に来てよかった。

■5年間

中川 舜野

静かに目を閉じ、大きく深呼吸をすると、長いようで短く感じたこの5年間で鮮明に浮かび上がってきます。友達がほぼ0の状態での初めてのホームルームはとても緊張したのを覚えています。学年が上がるごとに友達が増え、仲良くしてくれる先輩や後輩もできました。高校や大学では味わうことができないことを、この阿南高専で味わうことができたと思います。先生、友人、先輩後輩、高専生活を忘れず、大人になっていきたい。

■縁

野田 篤志

高専時代を振り返ると、「縁」に恵まれていたと思う。友達との出会い、恩師との出会いなど、僕にとって素晴らしい出会いがいくつもあった。全ての出会いに何かしらの縁のようなものがあったのではないかなと思う。出会いが別の出会いを引き寄せ、その出会いがまた別の出会いを引き寄せる、それを感じる貴重な経験ができた。これも高専という場所のおかげと思っている。この縁を大事にしたい。

■感謝

藤田 陸

20年間、好き勝手させてくれてありがとう。毎日、ご飯をつくってくれてありがとう。遊びに行くたびにお金を持たせてくれてありがとう。12年間も野球をさせてくれてありがとう。両親の助けなしでは生きて来られなかった20年間でした。そして、5年間充実した生活を送らせてくれた5Mのクラスメイトにありがとう。男女問わず仲の良いクラスで、卒業したくないと思わせてくれました。次、会うまでにビッグになりましょう。

■部活動

松本 祥

この長いようで短い5年間はソフトテニス部なしでは語れません。1年生で入部し、尊敬できる先輩に出会えたことはかけがえのないものとなりました。技術面だけでなく、主将としての立ち居振る舞いも先輩の背中を見て学びました。その背中を追いかけて努力を続け、最後の高専大会で優勝することができ、大きな自信を得ることができました。この自信は、社会人として踏ん張る時の糧となるはずだと考えています。

■オーディオルーム

山本 七海

学校が終わると毎日必ず行くようにしていたオーディオルームは、軽音楽部の私にとって思い出が詰まった場所だ。今では、自分の家のような感覚で過ごすことができる。中学からずっとしたかった音楽ができて、そして自分たちの音楽で誰かの青春になれたことはとても感謝している。僕の5年間は軽音に全て費やしたと言っても過言ではない。高志会館2階のオーディオルームは、それだけ魅力的な場所だった。



贈る言葉

勇気を出して自分自身を信ずること

電気コース 5年担任 中村 厚信

ご卒業おめでとうございます。4月からまた新しい環境で新たな出発することになります。そして新しい人間関係を築いていかなくてはなりません。人が出会えば、その人数分の異なった考えが集まります。そのようなときには、先ず人の話をよく聞いてください。自分が思いつかなかった発想がそこにあるかもしれません。また勇気を出して自分自身の考えを述べてください。しかし注意すべきは、単なる思いつきを言っしまい、皆を困惑させるようにしないことです。自分の意見が誤っていないか、方向が正しいかをあらかじめ考えておく必要があります。そのためには先人が残した多くの著述を読み、また世の中の出来事などについて自分なりの考えを持っておくなど、不断の努力を要します。さらに大切なことは自分の考えが「これでよいか」と常に自問自答していくことです。自分自身を信ずるには、信ずるに足る自分自身にしないではありません。

今後の皆さんの活躍を期待しています。



5年生の言葉

■電気コース

1年担任 新井 修、西森康人、山田耕太郎、平山 基

2年担任 新井 修 3年担任 小林 美緒

4年担任 香西 貴典 5年担任 中村 厚信

■風のように

伊丹 航

高専での5年間は本当に風のように過ぎていった。入学時にあった様々な不安も今では良い思い出。これで学生生活が終わると考えると、少しさみしくもあるが、この日々を胸にこれからも頑張っていきたい。卒業後は県外への就職となる。また新しい環境での生活になるが、きっとやっていけるはずだ。この5年間は私の人生で見ると非常に短い時間かもしれない、しかし、きっと私の人生で最も濃い時間となったはずである。

■出会い

小川 悠香

この5年間あっという間だったなという気持ちでいっぱいです。3年生の時に地元の友達が県外に行ったりする際に、自分はまだ折り返し地点かと、高専の5年間は長いなと思っていました。しかし、この時間のおかげで学生会や蒼阿祭など様々な活動に力を入れることができました。5年間という時間でなければ関わらなかった先生方や友達がたくさんいたと思います。この出会いを支えに、卒業後も頑張りたいと思います。

■自分のやりたいこと

栗栖 豊

正直な話、高専に入学した時は将来の夢や自分のやりたいことは全く考えていなかった。手が不器用な方なので、むしろ入って本当に良かったのかと感じるくらいだった。しかし、学年が上がりいろいろな授業や実験をしていき、友達の将来の夢を聞いていくうちに自分のやりたいことが見つかってきた。最初から苦手だからという理由で諦めるのではなく、自分なりの方法で進んでいく大切さをこの学校で学んだ。この気持ちをいつまでも大切にしたい。

■振り返り

杉本 鼓蒨

高専の5年間はあっという間だった。まっさらな制服を着て、新しい生活に期待と不安を抱きながら出席した入学式はもう5年前のことだ。その頃の記憶でさえ最近曖昧になってきた、それくらい5年間いろんな出来事があった。蒼阿祭の実行委員や部活・研修旅行・球技大会など、どれも今となっては懐かしい思い出になっている。これから皆、それぞれの道へ進んでいく。別れは寂しいが、高専での思い出を励みに進んでいきたい。

■仲間

藤川 嶺雄

学生にとって最大のイベントの一つ、文化祭。それに携われたことは私の一番の誇りである。はじめは自分一人で突っ走りやりがちな行動もあったかもしれない。しかし仲間との関係が深まるにつれて、周りのみんなの支えの大切さに気づいた。自分一人の力ではどうしようもないことでも、自分にはないものを持っている、そんな仲間が周りにいて支え合えた、それでこそ得られた達成感がある。この経験をこれからも大事にしていきたい。

■学校生活を充実させること

梶田 文子

自分から楽しもうと思わなければ毎日は充実しないと考えたのは、高専に入ってからだった。この5年間で様々な気づきがあった。学校生活がしんどかった時はバンド活動がとても楽しかったし、部活動がしんどい時は学校生活が楽しかった。うまくいくことといかないことは、これからもたくさんあると思うけど、5年間の様々な気づきは社会人になっても私の手助けをしてくれると、信じている。



5年 球技大会

贈る言葉

活躍を期待する理由

情報コース 5年担任 福田 耕 治

皆さんは、情報コースとしては2期生ということになりますが、皆さんを見ていて制御情報工学科の学生との違いを感じることがあります。それは、かなりプログラミング能力が高まったという点です。もちろん、カリキュラムが変更されているのだから当然だといえるかもしれませんが、私としては実践力に通じる能力に違いがあると感じるのです。昨年に続いて今年も25人の学生が学会発表しています。さらに複数のコンテストなどに出場して受賞するという実績を残しています。また、授業ではJava、C言語を学習しますが、高学年になると各自が課題ごとにC#やPythonなどを自身で学習して必要なシステムを構築することができるようになっています。こういったことは、必要に応じて自分で学習し続け、新しいことに取り組んでいく技術者や研究者として基本的かつ大切な特性です。私はこのような人材として皆さんを大学や企業に送り出せることを誇りに感じており、今後の皆さんの活躍が大いに期待できると考えています。



3年 研修旅行



5年生の言葉

■情報コース

1年担任 新井 修、西森康人、山田耕太郎、平山 基
2年担任 櫛田 雅弘 3年担任 平山 基
4年担任 福見 淳二 5年担任 福田 耕治

■高専プロコンはヤバイ

狩野 真毅

高専プロコンはヤバイ。本選までの開発も、本選当日の発表や他高専の学生との交流も何もかもを鮮明に覚えています。特に、4年生のときのプロコンでは阿南高専が主管校で、出場チームのまとめ役という立場でした。毎日遅くまで開発を続け、本選当日は緊張のせいでトイレと仲良くなりました。個性が強すぎる人ともたくさん出会いました。この経験は一生私の中に残り続け、何かチャレンジする時の足がかりとなるでしょう。

■私の思い出

木内 貴浩

私にとって高専生活は非常に短いものでした。寮生活や海外留学、レポートに追われて忙しかった日々の中で、人生で一番輝いた充実した時間を経験しました。また、心から尊敬できる先生方や仲間と出会ったことで、今の自分の考え方、知識、生き方、遊び方、笑い方、泣き方、努力する力など、想像以上のことを得ることができていると実感しています。こうした出会いを与えてくれた阿南高専に本当に「ありがとう」を伝えたいです。

■役員寮生

百々優志郎

高専時代に一番力を入れたことは、学寮の役員を2年間務めたことである。一人の役員寮生として全寮生のことを考え、みんなが生活しやすい環境を整えることに力を注いだ2年間だった。寮務主事、副主事、先輩、後輩、同期の役員寮生と何度もぶつかり議論しあって、より良い寮づくりに尽力した。そこで得て、感じて、考えた経験は、これから先どれだけ年をとっても、きっと忘れることはないだろう。

■課外活動

初 汐 一 真

落語、プロコン、写真、学生会、プロコン運営、寮IT管理、eスポーツ。こんなに携わることになるうとは、誰が想像していただろうか。入学当初はひっそりと高専生活を送るつもりだったのだが、いつから課外活動の鬼になったのだろう。しかし、後悔はしていない。各活動で非常に多くのことを学ばせていただいた。話し方、書類の書き方、人とのつながり、リーダーの在り方など、教えてくださったすべての人に感謝の意を伝えたい。

■感謝

福本 小夏

私は、本当に周りの人に恵まれていると日々感じます。専門科目が苦手で自己主張の弱い私が5年生まで楽しく過ごせたのは、クラスの人や情報コースの先生方のおかげです。実習では毎回頼ったり、定期試験では勉強を教えてもらったりと、一人では絶対にできなかったことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。進路指導でも先生方にお世話になりました。情報コースに入って本当に良かったです。卒業してもこの温かみは忘れません。

■友達

山本 雛子

私の高専生活を思い返してみると、本当に友達に支えてもらってここまでこれたと感じます。初めて親元を離れて生活することになった寮生活では、慣れないことばかりで戸惑いでしたが、友達のおかげで楽しく過ごすことができました。学校でも寮でも一日中過ごしても飽きることなく、一生大切にしたい友達です。たくさん迷惑をかけたので、これからは私が友達の助けとなれるような存在になりたいです。日々を一つ一つ頑張ります。



4年 伊方発電所見学

贈る言葉

当たり前の生活を支える技術者

建設コース 5年担任 森山 卓郎

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、これまで当たり前のように感じていた高専生活が終わり、もうすぐ新しい生活が始まります。当たり前と言えば（無理矢理ですが）、地震や台風などの災害で停電や断水になると、普段の当たり前の生活の有り難さを実感します。毎日、水道や電気、トイレが使えたり、車で道路を走ったり、バスや鉄道を利用できたりするのは当たり前と感じますが、これらのライフラインやインフラなどの整備やメンテナンスには建設分野の仕事もたくさんあります。何年か前に、大雪で立ち往生した列車の窓から、「がんばってくれてありがとう」と小さい子供が紙に書いて窓から掲げていて、それが作業員の励みになったという記事を何かで読みました。こういう形で住民らから直接感謝されることは少ないかもしれませんが、多くの人々の当たり前の生活を支える技術者として誇りを持って、日々精進してってください。今後のご活躍をお祈りします。



2年 体育大会



4年 体育大会

5年生の言葉

■建設コース

1年担任 新井 修、西森康人、山田耕太郎、平山 基
2年担任 城本 春佳 3年担任 長田 健吾
4年担任 堀井 克章 5年担任 森山 卓郎

■光冠ナイン

喜井 誠基

高専時代に一番力を入れたことは、野球です。小学生から続けてきた野球の集大成が高校野球です。同期生7人にも恵まれて今までで一番楽しく、熱くなれた3年間の野球生活でした。3年連続夏の大会初戦突破を後輩に継ぐことができました。個人としては、副主将、4番として成長できました。なかなか勝利に導くことはできなかったけど、20人全員で汗を流しながら練習したことはいい思い出です。

■阿南高専でのピリオド

佐野 涼

平成27年、期待を胸に阿南高専に入学した。友達をたくさんつくり、また様々な高度な知識を学ぼうと志した1年生の4月が、昨日のように感じる。あれから5年、あっという間に時は流れ、今日という日に至っている。この5年間は、私にとって最高の学生生活であったと思う。これから社会に出てたくさんの人に出会うと思う。その際には、阿南高専で学んだ全てを全力全開で発揮していきたい。

■不安と成長

竹本 宜輝

阿南高専ではいろいろな不安を抱えた。課題を期限内に提出できるか、テストで赤点を回避できるか、無事卒業できるかなど、数えきれない不安があった。しかし、友人の助けがあり、一步一步進むことができた。5年間課題やテストに悩まされることが多々あったが、ひとつずつ確実にこなしていくことで、自分の知識も深まったし、スキルを磨くことができた。長い5年間だったが、自身の成長につながる学生生活だった。

■陸上人生締めくくり

谷 亮磨

陸上を始めてはや10年目。高専での陸上で締めくくりだ。高専での5年間で、様々な経験をしたが、最も思い出に残っているのは、3年。この1年でインターハイ、国体と続けて全国レベルを目の当たりにした。高専での自分で練習を考えるというやり方があったからこそ、今のレベルに到達でき、本当の意味で自分の実力を試すことができたと思う。多くの人に支えられ私は強くなった。高専で過ごした日々の中で出会った全ての人に感謝。

■家族

蝶子 恵美

私は卒業すると、県外に就職することになっている。姉も家を出ているので、両親二人だけで生活するようになる。親戚からは県外に出ることに難色を示されたが、両親は気にせずやりたいことをしろ、と言ってくれた。理解があって応援してくれる両親にはとても感謝している。改めて自分が恵まれていると感じる。両親はよく、絶対に遊びに行くからね、というようになった。県外で暮らすことを私よりも楽しみにしていると思う。

■出会い

野口 佑大

この5年間は一瞬で過ぎ、卒業を迎えた。5年前、何のゆかりもない阿南で寮生活が始まり、期待と不安が入り混じっていたが、ここで出会った個性豊かな仲間との時間は本当に楽しく、不安なことは何一つなかった。仲間のおかげで勉強も部活も頑張れたし、充実した高専生活を送ることができた。これからそれぞれの進路へ向かって旅立つが、いつかまた集まって笑い合える日を楽しみに、それぞれの活躍を期待している。



4年 演習室で講義

贈る言葉

苦楽不二

化学コース 5年担任 西岡 守

化学コース二期生のみなさん、卒業おめでとうございます。

入学以降、さまざまな困難に苦しみながらの五年間だったでしょう。ところで、四苦八苦という仏教用語があります。四苦は、生老病死でありよく知られています。続く四苦は次のようなものです。

「愛別離苦」愛する人や物と別れる苦しみです。

「怨憎会苦」会いたくない人や物と会わなければならない苦しみです。

「求不得苦」求めるものが得られない苦しみです。

「五陰盛苦」心身が思い通りにならない苦しみです。

一方で、苦楽不二という仏教用語もあります。苦と楽は別物ではなく一体のものであるという意味です。苦はいつまでも続かない、苦の後には必ず楽があるということです。時代劇の主題歌の歌詞のようですが、人は苦と楽のなかで成長していくということでしょうか。

卒業生の皆さん、苦しいと思ったときは「苦楽不二（くらくふに）」を思い出して困難を乗り越えてください。



3年 球技大会



2年 白衣着衣式

5年生の言葉

■化学コース

1年担任 新井 修、西森康人、山田耕太郎、平山 基

2年担任 今田 浩之 3年担任 鄭 涛

4年担任 釜野 勝 5年担任 西岡 守

■共に成長した5年間

池住 厚哉

「技術者になるぞ」と意気込んで入学したわけではありませんでした。入試を早く済ませたいと考えていました。でも、高専に入学し、化学の知識を身につけ実験器具の扱いを覚えていくうちに、段々と自信がついてきました。ピペットの扱いはもう、誰にも負ける気がしません！さらに技術面だけでなく人間的にも大きく成長できたと肌で感じています。社会に出て阿南高専の名を知らしめてやる！さらば高専、ありがとう。

■卒業にあたって

小笠 育波

5年前の春、私の中学校からの入学者は私だけだった。授業は難しく、最初に学校に対して抱いた感情は「終わった」だった。ところが、いつの間にか友達ができ、バンドを組み、5年目の春を迎えていた。人間やればできるもので、単位も落とさずここまで来られた。感謝すべきものはたくさんあるが、一番は私の側で毎日笑い続けてくれた友達である。5年間どうもありがとう。そして、これからもどうぞよろしくね。

■たくさんの「ありがとう」

西條 賢人

ついこの間まで制服を着ていたはずなのにもう卒業。私にとってこの5年間は一瞬でした。私はこの阿南高専で様々なことに力を入れてきました。クラス委員、寮役員、部活動のキャプテンなど、今では懐かしい思い出です。私はこの春より、地元の企業に就職します。今の自分があるのは、家族や友達、先生方の支えがあったからだと感じています。本当にありがとうございました。『阿南高専に入学してよかった』。今なら胸を張って言えます。

■音楽

英 美波

入学早々、私は軽音楽部に入った。それまでの人生で一度も音楽はしてこなかったが、楽器が弾けたらいいな、という軽い気持ちで入部した。音楽の知識が何一つなかったので私がバンドを組み、今ではオリジナルの曲を演奏しているということに少し感動を感じる。きっかけはどんなに些細なことでも構わないので、そこに楽しさを見出すことが大切であると実感した。何気なく始めたギターで、私の高専生活はとても充実したものになった。

■グローバルに活躍するために

東出 淳志

私は入学時、英語が苦手でした。当初は勉強もそこそこでやる気も起きませんでした。転機は3年次の夏休み、先生に英語を教えてもらいに学校に通ったことです。これまでの私ならここまですることは考えられませんでした。自分を変えるため、自ら行動するようになりました。そんな私も春から英語で授業を行うような学部に進学します。英語面接対策にも付き合ってくださいました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

■高専での5年間

村澤 純太

5年前の4月、私は期待と不安を背負って阿南高専に来了。そして、高専ならではの実習や実験を行い、いろいろな課題に悩まされました。そんな時に助けてくれたのは先生方です。先生方はいつも相談に乗り、わからないことを優しく教えてくださいました。そんな先生方とこの阿南高専にはとても感謝しています。高専5年間で得た経験を社会に生かして、一つ一つ丁寧に頑張りたいと思います。

贈る言葉

学べばすなわち 固ならず

専攻科長 吉 村 洋

専攻科のご修了、おめでとうございます。本科の課程5年間から専攻科の課程2年間の7年間、阿南高専で様々なことを学び、成長されてきたものと思います。特に専攻科においては、専門的な知識の習得に加え、課題解決に向けた考え方や方法、コミュニケーション能力など、エンジニアとして生きていくために必要な能力を身に付けられました。これらは皆さんの基礎、ペースとなるもので、就職先・進学先で十分通用するものと思います。

皆さんには「学べばすなわち 固ならず」という孔子の言葉を贈らせていただきます。学べば学ぶほど、世の中のいろいろな考え方を知ることができ、視野が広がって、頑固さがなくなるということです。皆さんには、これからも様々な事柄を学び、より高く、より大きな人間としての成長を続けてほしいと思います。いつでも、阿南高専に戻ってきて、皆さんのご活躍の状況など、話していただければと思います。

日々研鑽

2MC担任 松 保 重 之

専攻科構造設計工学専攻のご修了、おめでとうございます。専攻科では、たとえば、多くのレポート課題に悩み、特別研究で出くわす問題の解決のために苦労され、問題解決に努力されてきたと思います。そして、その結果として、貴重な何かを得るという経験をされたと思います。皆さんが今後、技術者や、研究者として社会に出られても、苦労の連続になると思います。そればかりか、今後は、もっと多くの、もっと難しい問題を解決しなければならなくなるでしょう。それを克服する唯一の解決策は、日々研鑽しかありません。皆さんが、更なる高みを目指して努力し、それぞれの人生に、良かったと思える何かを手に入ることを期待しております。

旅立ち

2ES担任 長谷川 竜 生

専攻科電気・制御システム工学専攻の修了おめでとうございます。本科と専攻科7年間の課程を修了し、いよいよ社会に向かって旅立つ日になりました。慣れ親しんだ環境から離れる新たな生活を前に、期待と不安が入り混じっていることと思います。現在は、技術革新が激しく社会に出てからも学び続けたいといけない厳しい時代ですが、皆さんの実力は四年制大学の卒業生と何ら変わりません。むしろ、高専本科・専攻科で鍛えられ色々な可能性に満ち溢れており、即戦力として社会から期待されています。皆さんは十分な実力・能力を持っています。自信を持って4月から新天地で活躍して下さい。皆さんの更なるご活躍を祈念しています。

2年生の言葉（構造設計工学専攻）

■あっという間の7年間

2MC 井 形 友 蔵

私は本科、専攻科と計7年間阿南高専で過ごしてきました。今振り返ってみると、本当にあっという間の7年間でした。学寮での生活や研究活動、部活動、長期インターンシップなど様々な体験をしました。もちろんうまくいくことがあれば、失敗も多くありました。そのたびに一喜一憂してきましたが、すべてが自分の成長に繋がったと感じています。また、ときに競い、ときに励ましあった友人がいたからこそ、厳しいときも乗り越えられ、ここまで来られたと強く思います。素晴らしい仲間たちと出会うことができた阿南高専での7年間は私の誇りです。

最後に、常に親身になり支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。

■変化

2MC 高 井 龍 馬

自動車設計を夢に入学した7年前から本科では機械工学、専攻科では構造設計工学を学びました。現在の私の夢は仕事を通じて地域に貢献することに変化しました。その変化の理由は専攻科での多分野にわたる授業です。自身の専門分野外の授業では初めて知る事が多く、たくさんの刺激を受けました。その中で構造物や河川についての知識をつけたことにより、この知識を用いて地域、徳島に貢献したいと思いました。その意味では阿南高専での生活は多くのチャンスと可能性を与えてくださったと考えています。これからは学んだ機械工学の知識と土木工学の知識をつけながら精進していきたいです。修了するにあたり、阿南高専での生活に感謝いたします。

2年生の言葉（電気・制御システム工学専攻）

■モノづくりの楽しさ

2ES 岡 田 樹

私が高専生活で得られて本当に良かったのは、『モノづくりの楽しさを知れたこと』です。本科ではピンボールロボットを、専攻科のITベンチャーのインターンシップでは、観光巡り体験システムとIoTシステムを制作しました。情報やプログラミングが主な分野であった私にとって、初めモノを作ることには抵抗がありました。しかし、いざ実際に動くモノを作ってみるととても面白く、私はロボットを作った動かすことが好きなんだと気付くことができました。この経験からロボット関係の企業に就職します。やりたいことを見つけられて、のびのびと勉学に励むことができたのは多くの方々の支えがあったからです。お世話になった全ての方々に感謝いたします。

■明日に向かって

2ES 泉 晃 平

専攻科2年生の皆さん、ご修了おめでとうございます。皆さんにとって、7年間の高専生活は、どうでしたか。私は、何物にも代えることのできない大切な思い出を得ることができました。苦しくも楽しかった陸上競技、何日も悩んだ進路選択、何もなかった恋愛生活。この全てが、今の僕をつくっています。この学校で一番学んだことは、自分で考え自分で動くことです。在校生の皆さんも、数年後には社会に出ることになります。その時に、何が必要か今考えてください。思いついたことを手に入れるために、毎日少しずつ努力していきましょう。未来のあなたのためになります。これからの、皆さんの明るい未来を僕は応援しています。7年間ありがとうございました。

構造設計工学専攻



電気・制御システム専攻



海外インターンシップ・語学研修感想

本校では専攻科1年生は9月～11月の間に1～3カ月間、本科4年生は9月に約1カ月間、海外の提携校（ドイツ、ベトナム、タイ、シンガポール、台湾）でのインターンシップに参加することができます。今年度はシンガポールのテマセクポリテクニクが新しくインターンシップ先に加わりました。また8～9月に本科3～4年生を対象とした語学研修（ニュージーランド）もあります。今年度は専攻科生11名、本科生15名がこれらの海外プログラムに参加しました。

4I 増田大輝・武田一磨・勢井貴城

We first studied abroad at Temasek Polytechnic. Japanese teacher who is working at Temasek Polytechnic supported us in various ways. The purpose of studying abroad was to learn English in other languages environment and to learn foreign cultures in a multicultural society like Singapore.

We were talking with students at Temasek Polytechnic for long hours. The topics were the differences between Singapore and Japan, interests, and we taught English (Singlish) and Japanese to each other.

At the shopping center near our destination, I went to shop and to eat too many times. Surprisingly, there were many Japanese products (like cup noodles, snacks) and restaurants (like Osaka Ohsho, Ichibanboshi, and Gyu-Kaku), and it was comfortable to live because we felt a sense of closeness.

Additionally, we went to see sights like Merlion, Night Safari and Orchard road.

I'd love to go there again! (留学先：テマセク・ポリテクニク シンガポール)



1AC 石川千遥

I mainly studied about the design of MF membrane which is a water treatment device at University of Technology and Education, Da nang, Vietnam. Besides that, I tried to improve my communication skill and language ability through participation in English club held by UTE and discussion about the difference between Japan and Vietnam with students and advisors.

What most left an impression on me was there are a lot of opportunities that require the opinions of a Japanese in all situations like when I study and my interactions with locals. In this experience, I felt that we have to keep in mind that our opinions as Japanese are required when we stay abroad and also our opinions may contribute to international society. (留学先：ダナン技術・教育大学 ベトナム)



1AE 新見優里

I went to Taiwan for 80 days because I want to improve my English and learn new culture. I was able to have a very fulfilling life. I studied about web page design and technology foresight at National United University. I made a web page about my laboratory at NUU. This project was very difficult for me. I think it was good experience. There were a lot of opportunities to speak English. At first, I'm afraid of speaking English with foreigners. But students often talked to me. Finally, I could communicate with many foreign people. I made a lot of Taiwanese and international friends. I visited famous places in Taiwan with them and taught them Japanese. I also learned Chinese from them. I think Taiwan is a nice country and Taiwanese are very kind. This internship is a good memory for me. (留学先：国立連合大学 台湾)



3Z 谷 綾乃

I went to New Zealand to study English during my summer vacation. I stayed with a New Zealand woman and a Chinese girl. My host mother was very bright, active, and a lovely woman and the Chinese girl always helped me in various situations. I studied English with this warm family and kind classmates from a variety of countries at school for five weeks. I went shopping and sightseeing with my friends not only on holidays, but also after school. In Christchurch, there are many tourist attractions such as the Antarctic Center, Adrenalin Forest, and so on. I saw kiwi birds with my friends for the first time at the Willowbank Wildlife Reserve. It was a rare experience. My host mother introduced me to her friends, so I could communicate with a lot of people. I was really happy to have a wonderful time in New Zealand. After coming back to Japan, I keep in touch with my host family and classmates. I want to visit and meet them again someday.

(留学先：Ara Institute of Canterbury ニュージーランド)



台湾研修旅行報告



9月3日午前は台北市内での自由行動となり、学生達は台湾の大学生に連れられて思い思いの場所で観光を楽しみました。また、夕方からは日本人に最も人気のある観光地、九份を訪れ、夕焼けから夜景に刻々と変化する『ジブリの聖地』を堪能しました。

最終日の9月4日は、故宮博物院と忠烈祠を見学し、中国4000年の歴史に圧倒されつつ、帰国の途につきました。

9月1～4日にかけて、本科2～3年生希望者を対象とした台湾研修旅行を実施しました。参加学生は例年より少数でしたが、事前研修を始めたことで以前より一体感も増し、より充実した研修となりました。

9月1日は、多くの学生が初めての出国に緊張しながらも楽しんでいる様子で、関空から台湾・高雄に入り、高雄の観光名所を巡りました。

翌9月2日は、八田與一の功績で知られる烏山頭ダムへ行き、台湾で賞賛される與一の功績を学びました。異国で深く尊敬されている様子は、日本人として誇らしい限りでした。その後、苗栗の連合大学へ移動し、大学の紹介や台湾で成功している経営者のセミナーを受けました。そして台北へ移動し、士林夜市でさまざまなB級台湾グルメに挑戦しました。多くの学生がああ臭豆腐にも挑戦し、意外と美味しいことに驚いていました。



高専ロボコン2019 四国地区大会 出場報告

機械コース 川畑成之

本年度、高専ロボコン四国地区大会は2019年11月3日、阿南高専第1体育館にて開催されました。本年度はTシャツ、バスタオル、シーツを干す「らん♪RUN Laundry (らん・ラン・ランドリー)」を競技テーマとして実施されました。



A チーム ロボット名「Nemophila (ネモフィラ)」

アイデア賞・特別賞 (安川電機) 受賞

大会中唯一の自動ロボット2台でのパーフェクト達成が可能な自動制御の速度と正確性が特徴的なロボットです。香川高専詫間(全国大会優勝)との対戦では試合巧者の相手チームの戦略によりパーフェクト達成条件が阻まれ惜敗しました。アイデア賞と特別賞を受賞いただきましたが残念ながら全国大会出場はできませんでした。



B チーム ロボット名「泡狸 (あわためぎ)」

特別賞 (田中貴金属グループ) 受賞

自動ロボット2台で、Tシャツを射出する、バスタオルをロボットハンドでかける、シーツを横から投げる、と楽しい仕組みが盛りだくさんの意欲的なロボットでした。試合では十分なパフォーマンスを発揮できず残念ながら予選敗退となりましたが、その獨創性に対し特別賞を受賞いたしました。

大会では両チーム、獨創的アイデアと技術によって上位進出をうかがいましたが、全国大会出場とはなりませんでした。その悔しさを力とし、オフシーズンには他のコンテストに参加するなど技術力の向上に努めております。今後も皆様からの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

四国移動型&自律型ロボットトーナメント2019 (SMART2019) 出場報告

情報コース 福見 淳二・安野恵実子
化学コース 釜野 勝
電気コース 香西 貴典

2019年12月1日(日)、津山工業高等専門学校にて、四国移動型&自律型ロボットトーナメント2019 (SMART2019) が開催されました。今年度は初めて徳島・香川を超えて岡山県の津山高専にて開催されました。

今年の競技課題は「RUGBY SMART CUP」でした。競技内容は2分間の競技時間内において、それぞれのチームが製作したLEGOロボットで、競技フィールドに配置されたピンポン球を獲得し、Try-point AreaにTryします。Tryはピンポン球をTry-point Area内に置くことで成立します。Try成功後、指定されたストーンをKick-point Areaに向かってKickします。競技時間終了時の合計得点を競う対戦型の競技でした。

大会には、中四国地区の高校生、高専生、大学生、大学院生の総勢18チーム(一般部門; 6チーム、U-18部門; 12チーム) 54名の参加がありました。本校からは3チーム出場し、決勝トーナメント進出を目標に予選リーグを戦いました。その結果、本校からは「拳で抵抗するLEGO」が見事予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進出を決めることができました。決勝トーナメントでは決勝戦にまで勝ち進みましたが、最後1点差で惜しくも優勝を逃し、準優勝となりました。来年度は第20回記念大会として徳島大学にて開催されることが決定しています。今後ともご声援いただけますよう、よろしくお願いします。



阿南高専参加者



集合写真

一般部門「拳で抵抗するLEGO」	坂野陽一(1AE)	坂井 卓(2M)	澤口直弥(1AE)
U-18部門「LEGOBY」	廣永稜太(3I)	栗原 悠(3I)	貞持壮佑(3I)
U-18部門「ビエール・タビ」	添木佑翔(2M)	江口魁人(2M)	永徳一匡(2I)

第30回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト

プログラミング同好会顧問 吉田 晋

第30回全国高専プロコンが10月13～14日、都城高専主管で、都市総合文化ホールで開催されました。今年は、自由部門1案、課題部門1案が予選通過し、競技部門を含め、3年連続で全3部門に出場し、昨年度の課題部門優秀賞に続き自由部門で優秀賞を獲得しました。自由部門で、小型で安価な水位計を開発し、IoTプラットフォームを活用した水位の監視と、住民自らアラートを設定できるWebシステム「あ！水ダス（AMIZDAS）ー水災害を自ら防ぐ水位監視システムー」を提案。優秀賞（第2席）に加え、チームラボ企業賞、NICT賞を受賞し起業家甲子園挑戦権を獲得しました。

地域活性化をテーマとした課題部門では、「TOZAN ーもっと楽しく運動！地元の山がゲームの舞台に！ー」と題して、ステッ



課題部門「TOZAN」

パー連動の登山疑似体験装置を提案しました。スマホアプリで簡単に道中の画像・音声を取得でき、サーバでの自動コンテンツ作成機能をアピールし、入賞は逃しましたがブースを訪れた多くの方に高い評価をいただきました。

競技部門は、昨年に続きフィールド上での占有陣地ポイントを競う陣取りゲームで、今年はサーバ上でのプログラム対戦形式でした。予選で思うように結果が出せず、敗者復活戦から第2ステージに進出しましたが、ファイナルステージ進出を逃しました。

学生達は、今後も上位入賞を目指したいと意気込んでいます。今後とも変わらぬ皆様からのご声援よろしくお願いします。



自由部門「あ！水ダス」



プロコン出場メンバー

第16回 全国高等専門学校デザインコンペティション (デザコン2019 in Tokyo) 参加報告

建設コース 森山 卓郎

12月7日(木)～8日(金)に、東京都立産業技術高専主管で東京の大田区産業プラザPiOで開催された第16回全国高等専門学校デザインコンペティション2019 (デザコン2019 in Tokyo) に参加しました。今年のデザコンは東京五輪にちなんで、「新「五輪書」ーくデザイン>の奥義を究めよー」をメインテーマとして行われました。本校からは構造デザイン部門のみに参加しました。

構造デザイン部門は、「カミってる!!」をテーマに、紙を素材とした橋梁模型による競技が行われました。紙で作成した橋梁模型に最大50kgの集中荷重を用いた載荷試験による耐荷性能と模型の軽さ、審査員によるデザイン性の評価の総合評価で競いました。本校からは笹田先生指導のもと、『アーチからトラスへ改修中』（5 C 鎌田さん、4 C 白石君、2 C 国原さん）と『四国の右端の桁橋』（5 C 井上君、4 C 大藪君、2 C 南さん）の2チームが参加しました。両チームとも載荷中に壊れることなく、規定の最大50kgの載荷荷重に無事耐えましたが、入賞はかないませんでした。総合成績は、参加した62チーム中、『アーチからトラスへ改修中』は31位で、『四国の右端の桁橋』は43位でした。

来年度は仙台高専名取キャンパス主管で12月5日(木)～6日(金)に宮城県の名取市文化会館で開催予定です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、御協力いただいた本校教職員ならびに後援会の皆様に御礼申し上げます。



『アーチからトラスへ改修中』の載荷試験



『四国の右端の桁橋』の載荷試験後

人権教育便り

▶本校の人権教育

阿南高専では、「大学人権を基軸」として人権教育に取り組んでいます。具体的には、中学校・高校人権と大学人権との融合により、実践的技術者に必須の技術者倫理への接続を行っています。本科低学年では各教科学習およびLHRにおいて人権学習を実施しています。専攻科では「技術者倫理」の授業等で、具体的な事例を通じて倫理的問題を考え、将来技術者として必要な工学倫理観の育成を行っています。

本年度の活動紹介

▶「身元調査お断り」ワッペン運動の参加

本校では、阿南市人権教育協議会高校・高専・特別学校教育部会の一員として人権啓発活動の推進に取り組んでいます。9月にフジグラン阿南店で実施された「身元調査お断り」ワッペン運動に本校学生と教員が参加しました。



▶いじめ防止啓発パンフレットの配布

昨年度に引き続き、阿南高専オリジナルのパンフレット「いじめのない学校づくりのために」を学生および保護者に配布しました。

▶阿南市人権啓発作品への応募

毎年本校では、人権教育の一環として阿南市の人権啓発標語・ポスターおよび人権作文へ取り組んでいます。今年度も作品の応募を行いました。

▶SNS犯罪被害防止講話を実施

1年生対象LHRにおいて、徳島県警察本部から講師をお招きし、『ネットには危険もいっぱい』と題し、講話を実施しました。



第41回 四国地区高等専門学校 総合文化祭

12月14日(土)、15日(日)弓削商船高等専門学校を主管校として、第41回四国地区高等専門学校総合文化祭が西条市総合文化会館にて開催されました。

本校からは18部門に学生103名、教職員24名が参加しました。

書道部門で電気コース5年 橋本日菜子さん、絵画部門で電気コース5年 荒井誉麗さんが優秀賞を受賞するなど、各自が日頃の成果を披露することができました。また情報コース2年 溝淵智也さんは令和2年1月25日(土)、26日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに出場しました。

全体交歓会の後、ジャグリングやStreet Dance、書道パフォーマンス、吹奏楽合同演奏が行われたほか、軽音楽、演劇、茶道や落語等の実演が行われ、他高専と交流を深める貴重な機会となりました。

次回は、本校が主管校として、阿南市文化会館（夢ホール）及び富岡公民館において、令和2年12月12日(土)、13日(日)に開催いたします。



▶団体 ミニロボットコンテスト競技部門 技術賞「ボルシチ VOL7」

将棋部門団体戦 準優勝

▶個人 英語スピーチコンテスト部門

「プレゼンテーション・シングル部門」 第2位 21 溝淵 智也

絵画部門 優秀賞 5E 荒井 誉麗

佳作 2C 加藤 桃香 2C 泉 遥香

書道部門 優秀賞 5E 橋本日菜子

佳作 5M 鈴木 唯斗 4C 奥村 公香

写真部門 佳作 5M 谷崎 龍平 4I 正本 佳那 5Z 山田 雅史

第14回 蒼阿祭

第14回蒼阿祭を終えて 蒼阿祭執行委員長 4Z 岡内 駿之介

第14回蒼阿祭の来場者数は昨年度の1.3倍の2206名を記録し、毎年大人気のイベントや専門展示はさらなる盛り上がりを見せました。

これは蒼阿祭に関わった全ての方のご協力のおかげです。ACT企業の皆様には金銭面のサポートだけでなく、企業説明ブースやクレーン車試乗などのイベントにもご協力いただきました。ワークスモバイルジャパン株式会社様にはプログラミング同好会の蒼阿祭運営用BOTツール開発にご協力をいただきました。



軽音部の演奏

そして執行部の皆はそれぞれが理想とする斬新なイベントを企画し、議論を重ねてその多くを実現させてくれました。蒼阿祭が近づくに連れて運営に参加してくれる学生も増えました。最も反響の大きかった脱出ゲームは彼らの企画です。

執行部だけで活動するのではなく、高専内外のご協力をいただいたことで、盛大に蒼阿祭を開催できました。

歴史に慣らされるのではなく、自ら考え、創造し、素晴らしい蒼阿祭が実現できました。本当にありがとうございました。



ルミノール反応の実験(化学)

図書館便り

学生図書委員会の活動

ブックハンティング に行ってきました!!

10月26日(土)に紀伊國屋書店(そごう徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんのお本を選んでくれました。

～ブックハンティングに参加して～

21 武田 天海

ブックハンティングは本好きの私にはとても魅力的な1時間半でした。今までは自分が読みたい本しか買ったことがなかったので、学生はどのような本を読みたいのかを考えながら選びました。

3E 西村 祐彦

ブックハンティングに初めて参加しましたが、緊張せずに臨むことができて良かったです。このような企画によって図書館が古くならず、通う人がどんどん増えていってほしいです。

41 品川 裕依菜

2回目の参加になります。今回は開発がしたい人向けの本を選んだり、留学生がいるから外国のことを知れそうな本を選んだり、他にも色々ジャンルに幅をもちました。探すのが楽しかったです。次も参加したいです。

4Z 藤本 崇恒

書店に実際に行って自分で本の内容を確認しながら選定することができたので非常に良かったと思います。学生目線で選定した本を図書館に置いてもらう機会は滅多にないことだと思うのでとても有意義な時間でした。

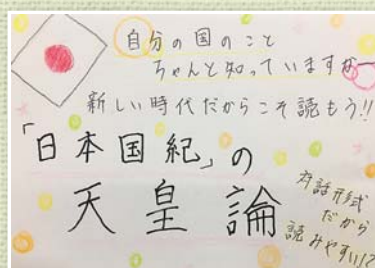
5M 野田 篤志

僕にとっては最後のブックハンティングとなりました。最初はノリでなった図書委員も、ブックハンティングなどのイベントのおかげで楽しくできました。他の高専生の皆さんも図書委員になってみてはいかがでしょうか。



～学生図書委員オススメの一冊～

オススメしたい本のポップを描いてもらいました。その中からいくつかを紹介します。

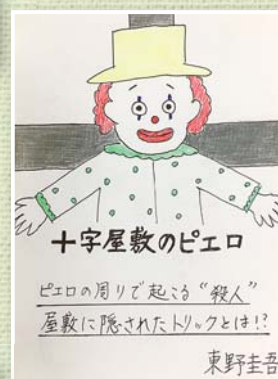


1年2組
西田穂菜美

閲覧室 288.41||H99

3Z
湯浅 智衣

文庫・新書コーナー 913.6||H55



5I
四宮 颯大

閲覧室 913.6||Mo54

紹介した本は図書館に配架しています。

クラス別図書貸出状況

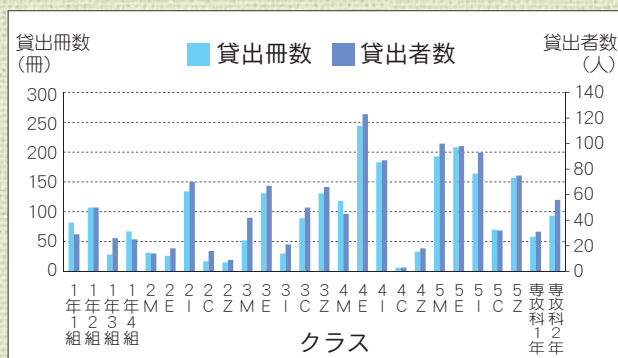
2019年度4月～12月のクラス別貸出状況です。

貸出の一番多かったクラスは250冊近くありました。

貸出図書の傾向としては、『Pythonで学ぶディープラーニングの理論と実装』(斎藤康毅著)が最も多く貸し出されました。小説では、2018年に映画化された『コーヒーが冷めないうち』(川口俊和著)が人気でした。

図書館では、毎月テーマを変えて展示を行っています。雑誌やDVDも充実しているので、本を読むだけでなく、勉強の息抜きに立ち寄ってみてください。もしかすると、これだ!と思える本に出会えるかもしれません。

今年度図書館を利用しなかった学生さんも、来年度はぜひ利用してみてください!!



学生アルバイトより

一年間、学生アルバイトをして思ったことを綴ってもらいました。

私は昨年度に引き続き、今年度も図書館アルバイトをしました。月ごとの企画展示を作ったり、定期的に書架を整理したり、掃除をしたり……。どれも昨年度と変わらないことですが、図書館が快適に過ごせる楽しい空間になるよう貢献できたのが嬉しかったです。また、企画展示でPOPを作成した本を借りてもらえたとき、やはりやりがいを感じました。

これからも、たくさんの人に図書館に来ていただけると幸いです。

5M 正瑞来夢

図書館アルバイトを始めた当初は不安でわからないことが多くありましたが、同じ時間に勤務している社会人の方々に支えて頂いて業務について深く理解することができ、充実したアルバイトの時間になりました。

この経験は、私にとって多くの人やたくさんの本との出会いを生んでくれたものでした。この経験をこれからも活かしていきたいと思います。

5I 百々優志郎

一年間お疲れ様でした!!

図書館職員からの推薦図書

新着図書から紹介します。

『雨の日も、晴れ男』

水野敬也 著

2人の神のいたずらによって主人公は不幸な目に遭い続ける。それでもポジティブに人を楽しませる姿が物語調になっていて面白い。どんな事が起きても、本人の捉え方によって良いことにも悪いことにもなる。自分で良い方向に捉えようとする主人公の姿が、今をよりよく生きるために大切な心構えだと教えてくれる『笑えて』『泣けて』『ためになる』小説。

*閲覧室：913.6||Mi96

『地球をめぐる不都合な物質』

日本環境化学会 編著

近年、外出困難なほどの大気汚染や、プラスチックを海鳥やウミガメが誤飲してしまった話も聞かれ、環境汚染がさらに問題視されています。本書はPOPs（残留性有機汚染物質）、マイクロプラスチック、MP25などの物質がどのように地球をめぐるのか、人や野生生物にどのような影響を与えるのか、それについてどう判断し行動することが大切なのか、第一線で活躍する環境化学者たちが解説しています。

*文庫・新書コーナー：080||ブルーバ||2097

図書館からのお知らせ

開館時間

- 平日 9時～19時（休業期間中は、9時～17時）
- 土曜日 11時～17時（休業期間中は、休館）
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。

（貸出を希望される場合は、身分証明書（運転免許証など）をご持参ください。）

貸出冊数

5冊まで（休業期間中は、10冊まで）

貸出期間

15日間（休業期間中は、延長）

★館内資料の文献複写（著作権法の範囲内での有料複写）や、DVDコーナーもご利用になれます。

★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106

E-mail tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

URL <https://www.anan-nct.ac.jp/facility/library/>

投書箱

図書館では、学生のみさんのリクエストを受け付けています。

読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。

各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
2019年度 徳島県高等学校新人学年別バドミントン大会					
2019.9.16	個 人	1年生男子単	優勝	1-4	井上 怜 嗣
			第3位	1-3	高田 悟 希
	個 人	2年生男子単	優勝	2E	森野純一郎
	個 人	1年生男子複	準優勝	1-4	井上 怜 嗣
				1-3	高田 悟 希
	個 人	2年生男子複	第3位	2E	森野純一郎
2E				谷 口 歩 杜	
令和元年度阿南市体育祭(硬式テニスの部)					
2019.9.14	個 人	高校生の部 男子	優勝	2M	岡 田 莉 石
			準優勝	2M	野 口 真 斗
	個 人	高校生の部 女子	準優勝	2M	稗 田 華 子
			第3位	2C	河 野 愛 弥
第26回 五十射選手権大会					
2019.9.21	個 人	高校総合 女子の部	第3位	2Z	榊 一 加
第49回 徳島県高等学校新人陸上競技大会					
2019.9.21	団 体	男子 フィールド	第2位		
	個 人	男子 走高跳	第1位	2C	岩 佐 隼 東
			第2位	1-2	大 前 雄 三
	個 人	男子 砲丸投	第2位	2C	坂 野 翔 哉
	個 人	男子 やり投	第3位	2C	坂 野 翔 哉
	個 人	女子 1500m	第1位	1-2	黒 田 凜
	個 人	女子 800m	第1位	1-2	黒 田 凜
2019年度 徳島県高等学校新人バドミントン大会					
2019.10.6	団 体	男子団体二部	第3位	2E	谷 口 歩 杜
				2C	久 保 皓 平
				2E	森野純一郎
				2M	丸 山 蒼 太
	団 体	男子団体三部	準優勝	1-3	高田 悟 希
				1-2	遠 藤 蒼 太
				1-2	桜 井 陽 斗
			1-4	敷 島 夢 士	
第21回 四国高等学校新人陸上競技選手権大会					
2019.10.12	個 人	男子 砲丸投	第3位	2C	坂 野 翔 哉
令和元年度 阿南市体育祭(弓道の部)					
2019.10.19	個 人	男子個人の部	優勝	1-2	豊 成 聡
	個 人	女子個人の部	第3位	3C	上原明日香
	団 体	団体の部	準優勝	4I	坂 東 璃 音
				3C	上原明日香
				4I	程 野 佑 真
徳島県高等学校新人テニス大会					
2019.10.19	団 体	男子団体	第2位	2I	栗 原 辰 光
				1-3	吉 川 光
				2E	矢 野 大 輝
				2M	棚 橋 歩
				2E	齋 藤 寛 浩
				1-4	美 馬 歩 嵩
				2M	野 口 真 斗
	1-1	鹿 島 悠 矢			
徳島県高等学校新人バドミントン大会					
2019.10.19	団 体	男子団体	優勝		
2019.10.20	個 人	男子ダブルス	優勝	2E	森野純一郎
				1-4	井上 怜 嗣
2019.10.22	個 人	男子シングルス	優勝	1-4	井上 怜 嗣

令和元年度 広報情報室高専便り編集委員

編集委員長 城本 春佳 (一般教養)

中島 一 (一般教養) 山田 洋平 (一般教養)

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
全国高等専門学校 第30回 プログラミングコンテスト					
2019.10.14	団 体	課題部門 「TOZAN」	敢闘賞	4I	小島 脩生
				4I	坂東 璃音
				3I	高橋 直樹
				5I	橋本 綾斗
4I	小倉 大輝				
2019.10.14	団 体	自由部門 「あ！水ダス（AMIZDAS）」 優秀賞(第2位) チームラボ企業賞 NICT賞	5I	狩野 真毅	
			4I	中道 翼	
			4I	松浦 圭吾	
			5I	百々優志郎	
			3I	湯口 真行	
			4I	彦上 諒	
5I	多田 魁登				
徳島県高等学校新人柔道選手権大会					
2019.10.19	個 人	男子個人 81kg級	第3位	2I	楠 尊
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト四国地区大会					
2019.11.3	団 体	阿南高専Aチーム「Nemophila」	アイデア賞		
	団 体	阿南高専Aチーム「Nemophila」	安川電機賞		
	団 体	阿南高専Bチーム「泡狸」	甲中賞(高専部賞)		
四国移動型&自律型ロボットトーナメント2019(SMART2019)					
2019.12.1	団 体	一般部門 「拳で抵抗するLEGO」	準優勝	1AE	坂野 陽一
				2M	坂井 卓
				1AE	澤口 直弥
令和元年度 人権啓発標語・ポスター及び人権作文					
2019.12.8	個 人	標語部門	入選	3C	佐野 俊介
				3E	江村 和也
				3C	太田 朱音
				3I	米田 彩華
				3Z	堀井 翔太
				3Z	板東 梨乃
	3M	谷口 乃愛			
	3I	谷泉 翔星			
	個 人	ポスター部門	入選	1-4	小林 由佳
				1-3	林 直人
1-3				森本 花凜	
個 人	作文部門	入選	2M	長谷 野花	
			2I	平岡 大我	
			2Z	田中陽菜子	
Sigfoxを使ったIoTアイデアコンテスト					
2019.12.14	団 体	〈プロトタイプ部門〉 「田んぼの水位見張り番」 ファイナリスト認定証		5I	狩野 真毅
				4I	松浦 圭吾
				4I	中道 翼
				5I	松原 稜
				5I	福本 小夏
第41回 四国地区高等専門学校総合文化祭					
2019.12.15	団 体	ミニロボットコンテスト競技部門	技術賞		ボルシチVOL7
	団 体	将棋部門団体戦	準優勝		
	個 人	英語スピーチコンテスト部門「プレゼンテーション・シングル部門」	第2位	2I	溝 渕 智也
	個 人	絵画部門	優秀賞	5E	荒 井 誉 麗
				2C	加 藤 桃 香
					泉 遥 香
	個 人	書道部門	優秀賞	5E	橋本日菜子
				佳作	5M
	個 人	写真部門	佳作	4C	奥村 公香
				5M	谷 崎 龍 平
4I				正 本 佳 那	
		5Z	山 田 雅 史		

阿南工業高等専門学校 学生課

電話 (0884)23-7100

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

E-mail : gakusei@anan-nct.ac.jp